

# 柏崎市地球温暖化対策実行計画 令和元（2019）年度報告

## 第1章 区域施策編（市域の温室効果ガス排出量）

### 1 温室効果ガスの削減目標

温室効果ガスの総排出量を、基準年度に比べてR3(2021)年度に12%削減する。

基準年度	H25(2013)年度 926千t-CO <sub>2</sub>
短期目標年度	R3(2021)年度 815千t-CO <sub>2</sub> (▲12%)
中期目標年度	R12(2030)年度 685千t-CO <sub>2</sub> (▲26%)

### 2 実施状況

H26(2014)年度	885千t-CO <sub>2</sub> (▲4.4%)
H27(2015)年度	866千t-CO <sub>2</sub> (▲6.4%)
H28(2016)年度	853千t-CO <sub>2</sub> (▲7.8%)
H29(2017)年度	838千t-CO <sub>2</sub> (▲9.5%)

※H30(2018)年度 参考値 828千t-CO<sub>2</sub> (▲10.5%)

### 3 結果

H29(2017)年度の排出量は、基準年度から9.5%削減となりました。部門別にみると、排出量は基準年度から全体的に下がっており、産業部門からの排出量が多くを占めています。このまま順調に削減が継続できれば短期目標値は達成する見込みです。

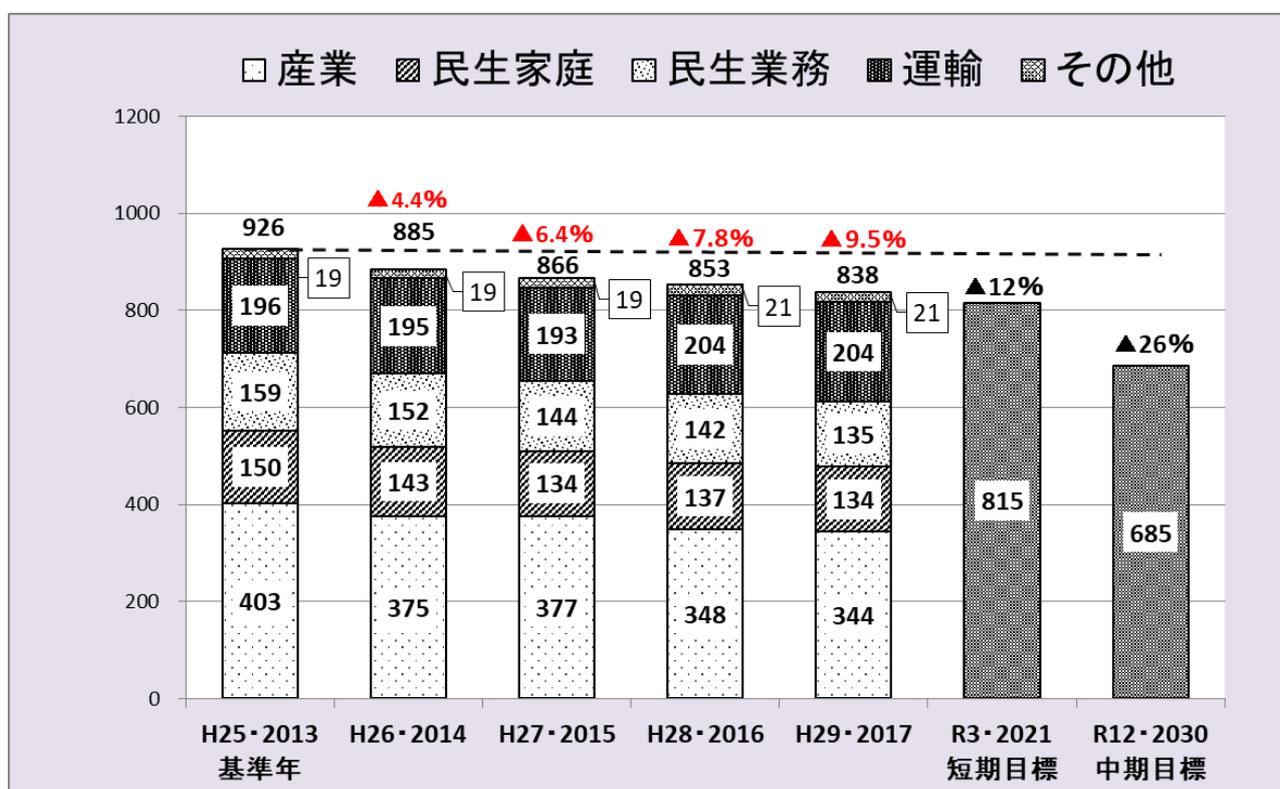


表1 柏崎市の温室効果ガス排出量・目標 (単位：千t-CO<sub>2</sub>)

## 方針1 再生可能エネルギー・地域資源の有効活用 目標指標

### ■「柏崎市地域エネルギービジョン」の策定

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
-	未策定	策定	策定済	策定済	H29(2017)年度 策定

### ■太陽光発電を設置した公共施設数 ( ) 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
累計	14 施設	30 施設	25 施設 (+2 施設)	23 施設 (+4 施設)	19 施設 (+3 施設)

### ■木質ペレットストーブを設置した公共施設数 ( ) 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
累計	8 施設	15 施設	11 施設 (0 施設)	11 施設 (0 施設)	11 施設 (+3 施設)

### ■造林事業面積 ( ) 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
累計	162ha	720ha	455.1ha (+77.9ha)	377.2ha (+84.9ha)	292.3ha (+55.6ha)

## 方針1 R元(2019)年度の取組実績等

施策	内容
再生可能エネルギーの導入・有効活用の推進	公共施設に太陽光発電設備(2施設:防災情報通信システム 高柳送信所 4.4kw、西山送信所 6.6kw)および地中熱利用設備(3施設:第一中学校、南中学校、瑞穂中学校)を導入 周知啓発セミナー開催(計6回、227名参加) 地域エネルギー会社の導入可能性調査を実施
再生可能エネルギーを活用した電力・熱供給事業(スマートコミュニティ)の推進	地球温暖化対策推進本部から公共施設の改修に対して温暖化対策に資する改修方法を提案
木質バイオマス資源の利活用事業の推進	補助金により木質ペレット・薪ストーブの購入を支援
バイオディーゼル燃料の利活用事業の推進	クリーンセンターの施設内車両にBDFを使用
その他バイオマス資源・未利用エネルギーの有効活用	自然環境浄化センターにおける消化ガス発電事業
植樹活動や里山保全事業などによる森林保全の推進	「緑の募金」植樹事業に8団体が植樹活動を実施

## 方針2 家庭、事業所及び地域における省エネルギー普及の加速 目標指標

### ■EC02 プロジェクト参加登録事業者数 ( ) 内は新規参加登録者数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
累計	222 事業者	300 事業者	<b>233 事業者</b> (-5 社)	238 事業者 (+4 社)	234 事業者 (+2 社)

### ■低炭素型創エネ・省エネ機器導入補助金補助件数 ( ) 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
累計	61 件	200 件	<b>135 件</b> (+22 件)	113 件 (+23 件)	90 件 (+13 件)

区分(単位:件)	R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
燃料電池設備	11	9	0
ガス発電・給湯暖房設備	—	0	0
地中熱ヒートポンプ空調・給湯設備	0	0	0
木質バイオマスストーブ	7	9	6
HEMS+蓄電池	2	0	3
太陽光発電設備+HEMS+蓄電池	2	5	4

表2 炭素型創エネ・省エネ機器導入補助金交付内訳

### ■うちエコ診断受診世帯数 ( ) 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
累計	未実施	50 世帯	<b>13 世帯</b> (0 世帯)	13 世帯 (+6 世帯)	7 世帯 (+6 世帯)

### ■省エネ診断受診事業所数 ( ) 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
累計	3 社	13 社	<b>4 社</b> (0 件)	4 社 (0 件)	4 社 (1 件)

### ■エコアクション21取得事業所数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
年度計	23 社	30 社	<b>18 社</b>	19 社	21 社

### ■LED街路灯の設置 ( ) 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
累計	3,569 灯	12,523 灯 (市内全灯)	<b>9,276 灯</b> (+1,375 灯)	7,901 灯 (+1,559 灯)	6,342 灯

方針 2 R 元(2019)年度の取組実績等

施策	内容
EC02 プロジェクトの推進	参加登録事業者 233 事業者
低炭素型創エネ・省エネ機器、LED 照明の導入促進	補助金により低炭素型創エネ省エネ機器の導入を支援 EC02 ポイントを活用した省エネ機器等の導入支援
スマートハウス・ビルの普及啓発	補助金により HEMS を含む低炭素型創エネ省エネ機器の導入を支援
建築物の省エネ改修、設備導入支援	第一中学校、南中学校、瑞穂中学校に地中熱利用空調設備を取り入れた工事を実施。比角小学校、半田小学校、松波町住宅 C 号棟の照明器具 LED 化を実施。
うちエコ診断・省エネ診断受診の推進	秋の収穫祭エコスペースにおいて毎年度イベントスペースにおいて実施していたが、R 元(2019)年度はエコドライブシミュレータ体験会を開催したため、実施しなかった。
環境経営システムの導入支援	E C O 2 プロジェクトにおける対象行動として周知

### 方針3 低炭素型交通の推進 目標指標

#### ■電気自動車等普及台数 ( )内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
累計	129台	200台	214台 (+20台)	194台 (+19台)	175台 (+28台)

#### ■ノーマイカーウィーク参加事業者数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
年度計	125社	150社	83社	106社	115社

5月と9月の2回実施。二酸化炭素削減量約20t。

#### ■ノーマイカーウィーク参加者数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
年度計	5,212人	6,000人	5,853人	5,131人	3,891人

#### ■エコドライブ講習会実施回数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
年度計	1回	5回	2回	0回	1回

#### ■エコドライブモニター実施者数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
年度計	11人	30人	350人	266人	40人

H30(2018)年度からノーマイカーウィークと併せて実施しているため参加者が増加した。

### 方針3 R元(2019)年度の実績等

施策	内容
電気自動車等導入促進	補助金により電気自動車等の導入を支援
電気自動車等に関する技術開発・製品開発研究・開発支援	—
公共交通ネットワークの再構築	利用者の動向ニーズを把握し、西部地区の路線バス(5路線)の経路変更を行い、その結果、延伸したバス停「東本町1丁目」における乗降者数が増加した。
ノーマイカーウィークの普及啓発促進	年2回実施。83社、5,853人が参加。二酸化炭素削減量約20t
エコドライブの普及啓発促進	37社、350人が参加。二酸化炭素削減量約842kg

## 方針 4 地域力発揮のための社会環境整備 目標指標

### ■環境リーダー養成講座受講者数 ( )内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
累計	2人	7人	7人 (+1人)	6人 (+1人)	5人

### ■地球温暖化防止活動推進員数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
年度計	2人	5人	2人	3人	4人

### ■環境教育プログラム実施校数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
年度計	未実施	32校(全校)	4校	10校	2校

### ■ふれあい講座・エコ教室・エネルギー関連施設見学会の実施回数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
年度計	5回	10回	4回	15回	12回

### ■ふれあい講座・エコ教室・エネルギー関連施設見学会の受講者数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R元(2019)年度	H30(2018)年度	H29(2017)年度
年度計	350人	600人	342人	775人	718人

## 方針 4 R元(2019)年度の取組実績等

施策	内容
環境リーダーの養成	柏崎地域から1名受講
地球温暖化防止活動推進員の増員	R元(2019)年度時点2名
小中学生向け環境教育プログラムの実施	環境教育プログラム(出前授業)の実施(小学校4校)
ふれあい講座・エコ教室・エネルギー関連施設見学会の実施	保育園児に向けたエコ教室を4園で実施
環境・エネルギー産業事業化への調査・研究・支援	関連研修会への参加
地場産農作物の積極的利用	秋の収穫祭などイベントにおいて、地場産農産物のPRを実施(78団体出店、約3万3千人来場)

## 第2章 事務事業編（市の事業からの温室効果ガス排出量）

### 1 温室効果ガスの削減目標

市の業務から発生する温室効果ガス総排出量を、基準年度に比べてR3(2021)年度に19%削減する。

基準年度	H25(2013)年度 36,914 t-CO <sub>2</sub>
短期目標年度	R3(2021)年度 29,900 t-CO <sub>2</sub> (▲19%)
中期目標年度	R12(2030)年度 22,148 t-CO <sub>2</sub> (▲40%)

### 2 実施状況

H29(2017)年度	36,859 t-CO <sub>2</sub> (▲0.1%)
H30(2018)年度	34,108 t-CO <sub>2</sub> (▲7.6%)
R元(2019)年度	35,763 t-CO <sub>2</sub> (▲3.1%)

### 3 結果

R元(2019)年度の温室効果ガス排出量は、全体から見ると減少傾向にありますが、昨年度からの比較では増加しました。主な要因は廃棄物焼却に係る分野の排出量増加となります。

廃棄物焼却による温室効果ガス排出量は、主にごみの焼却量とプラスチック組成割合から算出します。ごみ焼却量は毎年度微減しているものの、廃棄物に含まれるプラスチック組成割合が増加したため、排出量が増加となりました。

事務事業編は、市の業務から排出される温室効果ガス排出量が対象であるため、家庭から搬出されるごみの焼却に伴う業務も対象となります。職員の省エネや節電等では大きな削減は難しい部分もありますが、引き続き3Rの推進や省エネの呼びかけ等、温暖化対策への啓発を継続していく必要があります。

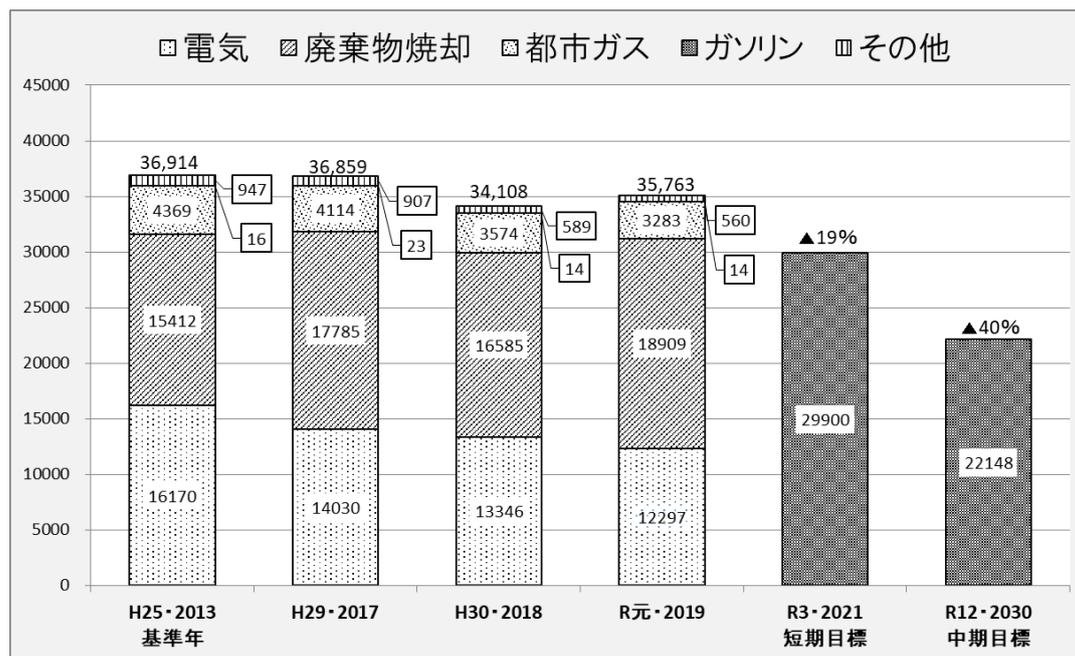


表3 柏崎市の事業からの温室効果ガス排出量・目標 (単位: t-CO<sub>2</sub>)